

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年間)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和4年度を始期とする「第3期静岡市中心市街地活性化基本計画（静岡地区）」を策定し、経済活力の向上と都市機能の集積による一体的な活性化を推進している。

本計画では、主要な店舗の空き店舗率、観光客数、中心市街地人口の3つの目標指標に加え、歩行者通行量を共通目標として掲げ、「いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地の実現」を目指している。

認定計画の策定後、地域経済に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症が収束し、「静岡まつり」等の大型のイベントの開催や、賑わいと居心地の良さが共存する”人”が主役のまちづくりのひとつである「まちは劇場」などの取組により、中心市街地の通行量や観光客数が回復しつつある。

令和5年3月には「御幸町9番・伝馬町4番地区第一種市街地再開発事業」が竣工、同4月には「学校法人静岡理工科大学専門学校」が開校され、教育機能を中心とした都市機能の拡充が進められた。また、一部撤退した大型商業施設跡に国内最大級のホビー店「駿河屋本店」が令和5年10月にオープンするとともに周辺商業施設のリニューアルが進み、中心市街地の集客のポテンシャルが大きく向上した。さらに、静岡都心の都市デザイン指針策定に向けた「おまちライフLab.」と題するワークショップ等を開催するなど、官と民、ハードとソフトが連携して中心市街地活性化に取り組むためのビジョンと体制づくりが進められ、民間投資が活発になる好循環が生まれつつある。令和7年度には「子どもの遊び場設置・運営事業」を開始し、子どもに優しいまちづくりが進み、近年減少が続いていた中心市街地の居住人口が増加する兆しがみえてきた状況である。

一方、空き店舗対策事業等により空き店舗への出店が増えたものの、新たに閉店する店舗もあり、空き店舗率の大きな削減には至っていない。個性あるエリアの魅力をさらに発信するとともに、エリア間の回遊性を高める取組を実施していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度9月30日)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
人口	15,787人	15,703人	15,679	15,742	15,879	
人口増減数	-	▲84人	▲24人	63人	137人	
自然増減数	静岡市算出不可					
社会増減数						
転入者数						

(2) 地価

(単位：千円/㎡)

	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
中心市街地 商業地域平均	526	530	538	554	572	
葵区呉服町 2-6-8	1,430	1,430	1,440	1,470	1,500	
葵区昭和町 4-3	714	712	717	731	757	
葵区両替町 2-4-2外	925	925	931	950	972	
葵区鷹匠 2-4-19	354	370	395	440	490	
葵区富士見町 11-5	190	191	192	193	194	
葵区呉服町 1-1-13外	557	562	567	577	588	
葵区伝馬町 9-11外	550	580	615	676	743	
葵区常磐町 3-6-5	235	235	236	239	243	
葵区宮ヶ崎町 1-1	206	206	208	210	212	
葵区人宿町 1-2-6	260	260	262	264	268	
駿河区南町 23-3外	727	730	736	750	765	
駿河区森下町 2-42	352	353	355	359	363	
駿河区南町 25-8	333	334	336	340	345	
中心市街地 住宅地平均	259	267	274	284	295	
葵区西草深町 19-7	285	298	310	322	335	
駿河区泉町 8-4	233	235	238	245	255	

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

ここ数年物価高の影響で閉店となる店舗が増えてきている。主要な商店街の空き店舗率を低くするためにも出店に対する補助を求める。

中心市街地人口は、順調に増加しているが目標達成には遠く及ばないため、移住支援策等取組効果を期待したい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	目標達成に関する見通し	
							前回の見通し	今回の見通し
魅力的な人とお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上 (訪れたい商都)	主要な商店街の空き店舗率	5.9% (R2)	5.9% (R8)	3.3% (R8)	6.0% (R7)	C	B	B
人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出 (にぎわいのある商都)	観光客数	524千人 (R2)	1,010千人 (R8)	1,374千人 (R8)	774千人 (R7)	B	A	b
居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進 (住み続けたい商都)	中心市街地人口	15,797人 (R2)	16,349人 (R8)	16,499人 (R8)	15,879人 (R7)	B	B	B
共通目標	歩行者通行量	4,218人/日 (R2)	6,538人/日 (R8)	6,812人/日 (R8)	5,858人/日 (R7)	B	B	B

＜基準値からの改善状況＞

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

※：上記について、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引く。

＜目標達成に関する見通し＞

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

「主要な商店街の空き店舗率」は、基準値を下回り、現在の推移からは目標値の達成は厳しい状態である。しかし、空き店舗を活用した遊び場事業や、民間による空き店舗への出店により基準値より改善することが見込めるためB評価とした。

「観光客数」は、大幅に減少したがコロナ禍である基準値よりは改善している。減少の要因の一つとして、静岡市民文化会館再整備に向けた閉館があり、これにより目標達成が厳しい状況となった。しかし、その他施設の多くは入館者数が前年よりも増加しており、基準値は上回ることが見込まれるため、今回の見通しはb評価とした。

「中心市街地人口」は、現状の推移から増加の動きがあり、基準値より改善した。マンション建設がされた西草深町などの人口が増加し、中心市街地人口が過去最高値を記録したものの、人口が減少する町が多かったため目標達成は難しいが、事業は計画どおり進んでいるため見通しをB評価とした。

「歩行者通行量」は、計測日に青葉通りで若者向けのイベントが開催されたため、静岡パルコ前など若者が利用する頻度の高い施設付近での増加が目立った。予定されていた再開発も完了した現状からの目標達成は難しいが、計画への登載事業は順調に進んでいるため見通しをB評価とした。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

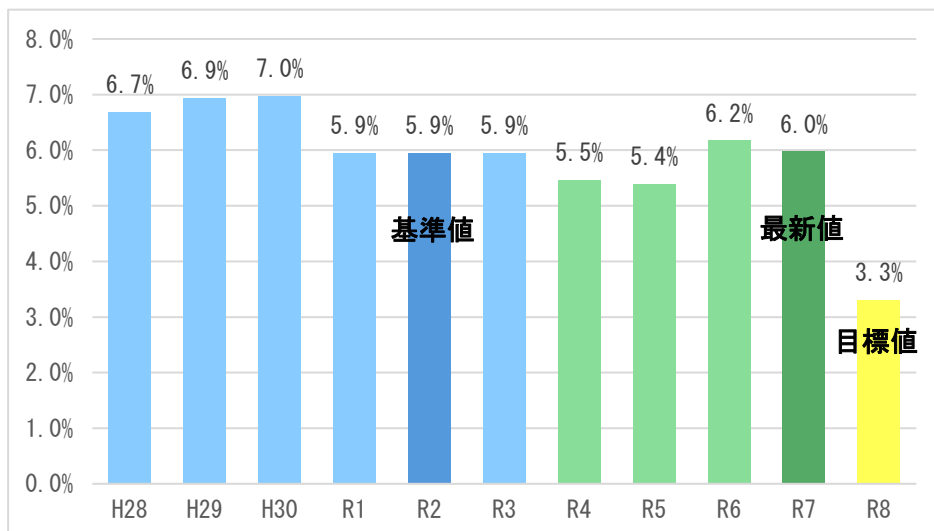
「観光客数」

目標達成の見通しについては、令和6年度フォローアップにおいては円安によるインバウンド需要の高まりに加え、駿府城公園関連の新規事業も実施予定であり、新たな観光客の増加も見込まれることからA評価としていたが、市民文化会館が老朽化により閉館となり観光客数が0人になったことが大きく影響し、目標達成が厳しくなったためB評価とした。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「主要な商店街の空き店舗率(%)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 72 参照

●調査結果と分析



年	(%)
R2	5.9 (基準年値)
R3	5.9 (計画前)
R4	5.5 (1年目)
R5	5.4 (2年目)
R6	6.2 (3年目)
R7	6.0 (最新値)
R8	3.3 (目標値)

※調査方法：商店街アンケート調査

※調査月：毎年8月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地の主要な通り（11箇所）

〈分析内容〉

主要な商店街の空き店舗率の低減に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。

基準年である令和2年度に比較すると、一定範囲の開発準備として退店が増えた商店街があったことにより悪化しているが、令和6年度と比較すると改善となった。これは、面的まちづくりに向けた商店街ワークショップ事業、子ども関連施設出店事業、子どもの遊び場設置・運営事業を実施し、空き店舗解消に努めた結果である。物価高により経営難となり撤退する店舗も出てきているが、令和7年度以降も当該事業を推進し、空き店舗の解消に努めていく。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. チャレンジショップ出店支援事業（静岡市）

事業実施期間	令和4年度～令和6年度【済】
事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和7年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	チャレンジショップ出店支援事業等を含む空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年4件の空き店舗の解消を目指している。 令和6年度に本事業で実施した中活区域内に立地する大型店への出店支援件数は3件だった。小売業や飲食業が出店している。
事業の今後について	令和6年度で事業終了。

②. 空き店舗対策事業（静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	令和4年度～令和5年度【済】
事業概要	商店街等の空き店舗を活用したチャレンジショップの検討・実施
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和6年3月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	商店街の空き店舗を活用する事業者を支援する空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年4件の空き店舗の解消を目指している。 令和5年度に本事業で実施した中活区域内への出店支援件数は2件だった。小売業とコミュニティスペースが出店している。
事業の今後について	令和5年度で事業終了。

③. 面的まちづくりに向けた商店街ワークショップ事業（静岡市）【令和4年度追加】

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	商店街組織の将来像の検討と推進体制の見直しや、空き店舗活用に向けた基礎調査、空き店舗対策事業の実施
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和5年4月～令和9年3月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年4件の空き店舗の解消を目指している。 令和7年度には直接的な出店はなかったが、空き店舗ツアーで扱ったテナントで、令和8年度中のオープンを目指して動いており、今後に向けて空き店舗が減ることとなる。
事業の今後について	アドバイザーを招聘したワークショップを行い、持続的な賑わいの創出に向けて取り組んでいく。

④. 子ども関連施設出店事業（民間事業者）【令和５年度追加】

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗を対象に子ども関連施設を整備する取組に対して費用の一部を助成
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和６年度） 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度） 地域未来交付金（地域未来推進型）（内閣府）（令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年４件の空き店舗の解消を目指している。 令和７年度に本事業で実施した助成件数は１件だった。
事業の今後について	次年度以降も子ども関連施設を整備する取組に対して助成することにより、中心市街地の賑わいの創出につなげていく。

⑤. 子どもの遊び場設置・運営事業（静岡市）【令和６年度追加】

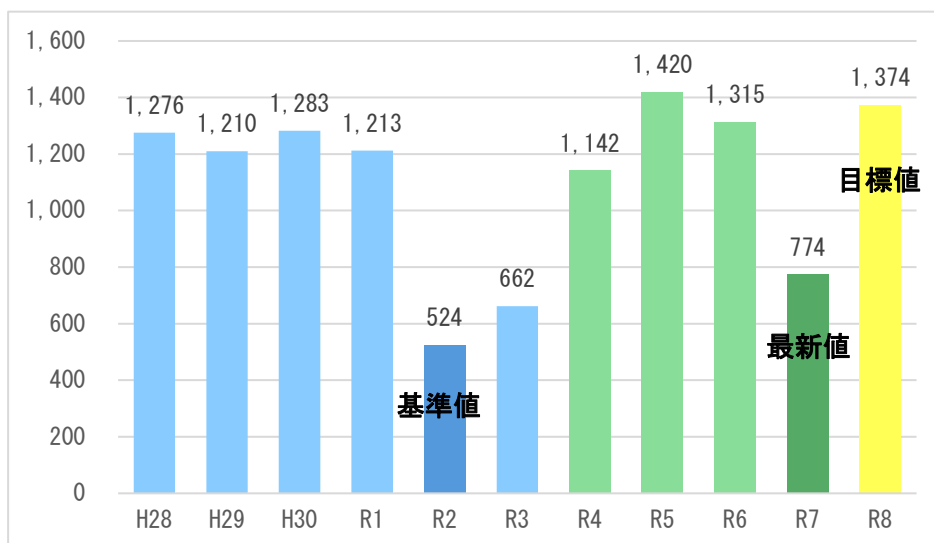
事業実施期間	令和７年度～【実施中】
事業概要	商店街（七間町名店街）の空き店舗を活用し、子どもや子育て世帯のニーズが大きい屋内型遊び場を設置・運営する、地元商店街団体等からなる実行委員会の経費の一部を助成
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度） 地域未来交付金（地域未来推進型）（内閣府）（令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年４件の空き店舗の解消を目指している。 令和７年度に本事業で実施した助成件数は１件だった。
事業の今後について	次年度以降も実行委員会に対して助成することにより、子育て世帯の利便性を高め、中心市街地の賑わいの創出につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており新規出店につながっているが、撤退する事業者もあり、想定していたような成果を上げられていない。そのため、現状では目標達成が困難な状況である。今後、既存事業の取組拡大に加え、空き店舗情報の周知を行い、目標達成に向けて取り組んでいく。

（２）「観光客数（千人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73 参照

●調査結果と分析



※調査方法：各施設への文書照会を実施し、回答を集計

※調査月：毎年５月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：関係する各施設の合計（７施設）

〈分析内容〉

観光客数の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり進捗しているが、市民文化会館の改修について、当初の予定から後ろ倒しとなり、令和８年度までに事業が完了していない。

大河ドラマ放映及び市歴史博物館の開館により順調に観光客数を伸ばしていたが、令和７年度においては歴史博物館の集客が落ち込んだこと、前述のとおり市民文化会館の改修に伴う閉館により大幅に減少し目標達成は難しくなった。

年	(千人)
R2	524 (基準年値)
R3	662 (計画前)
R4	1,142 (１年目)
R5	1,420 (２年目)
R6	1,315 (３年目)
R7	774 (最新値)
R8	1,374 (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 駿府城跡天守台発掘調査見える化事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	天守台跡地の整備方針を検討するための発掘調査現場の公開
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	駿府城跡天守台発掘調査見える化事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業等において約 14 千人／年の増加を見込んでいる。令和７年度の駿府城公園周辺の観光客数は、令和６年度に比べ 13 千人増加した。
事業の今後について	引き続き事業を行い、他事業との一体的な推進による効果によって目標値の達成の維持を目指していく。

②. 静岡市民文化会館再整備事業（静岡市）

事業実施期間	令和１年度～【実施中】
事業概要	市民文化会館の耐震性の向上やバリアフリー対策、劇場機能の更新
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省） （令和６年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	静岡市民文化会館再整備事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業等において約１４千人／年の増加を見込んでいる。建設費の高騰などから契約不調が相次ぎ、事業が後ろ倒しとなっていたが、契約内容の見直しにより事業が進捗し、令和７年度は再整備準備のための閉館により０人だった。
事業の今後について	再整備事業を行い、他事業の一体的な推進による効果によって目標値の達成を目指していく。

③. 駿府城跡天守台野外展示事業（静岡市）

事業実施期間	令和４年度～【実施中】
事業概要	発掘された２つの天守台の保存と活用を両立させた整備事業
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画事業）（駿府ふれあい地区）（国土交通省） （令和４年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	駿府城跡天守台野外展示事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業において約１４千人／年の増加を見込んでいる。 本事業は、令和４年度に計画を作成し、令和５年度に設計、令和８年度までに完了予定である。
事業の今後について	令和４年度に作成した計画を元に、引き続き事業を進めていく。

④. 駿府城公園「桜の名所」づくり事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	駿府城公園及び周辺部への桜の植樹（約 1,000 本）、効果的なライトアップ、周辺施設等との連携による桜めぐり等の実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	駿府城公園「桜の名所」づくり事業を含む、駿府城公園及び静岡市美術館運営事業等の一体的な推進による効果によって約１４千人／年の増加を見込んでいる。令和７年度の駿府城公園周辺の観光客数は、令和６年度に比べ 13 千人増加した。
事業の今後について	引き続き一体的な事業の推進をしていき観光客の誘客につなげていく。

⑤. 静岡市美術館運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 22 年度～【実施中】
事業概要	静岡市美術館の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	駿府城公園及び静岡市美術館運営事業等の一体的な推進によって約 14 千人／年の増加を見込んでいる。令和 7 年度の静岡市美術館の観光客数は令和 6 年度から 9 万人ほど減少しており、これは企画展の減少と個々の企画展の集客数の減少が要因である。今後も計画的に企画展を行い、より多くの観光客が来るような施策を行う。
事業の今後について	引き続き一体的な推進により観光客の誘客につなげていく。

⑥. 静岡まつり開催事業（静岡まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和 32 年度～【実施中】
事業概要	静岡まつりの開催（大御所花見行列、駿府登城行列、夜桜乱舞等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は 690 千人の来場者があったものの、令和 6 年度より 270 千人減少した。
事業の今後について	静岡地区を代表するまつりとして継続して実施し、さらなる来場者増により、観光客数増加に寄与していく。

⑦. 「ホビーのまち静岡」推進事業（ホビー推進協議会静岡、静岡市）

事業実施期間	平成 21 年度～【実施中】
事業概要	プラスチックモデル等の模型の情報発信施設「静岡ホビースクエア」の運営、情報発信、プラモデルをイメージしたモニュメント「プラモニュメント」の設置、クリスマスフェスタ開催等
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	静岡ホビースクエアにおいて、令和 7 年度は約 30 千人の来場者があり、令和 6 年度より約 1 千人増加した。
事業の今後について	静岡を代表する産業であるホビーを引き続き PR し、さらなる来場者増により、観光客数増加に寄与していく。

⑧. 大道芸ワールドカップ i n 静岡開催事業（大道芸ワールドカップ実行委員会）

事業実施期間	平成4年度～【実施中】
事業概要	大道芸ワールドカップ i n 静岡の開催（駿府城公園やまちなかを舞台とした大道芸披露・コンテスト等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和9年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度は 1,110 千人の来場者があり、令和6年度より 270 千人増加した。
事業の今後について	まちなかであらゆるジャンルの国際レベルのパフォーマンス活動を披露する世界的イベントとして継続して実施し、他事業との一体的な推進による効果によって目標値の達成を目指していく。

⑨. 静岡市歴史博物館運営事業（静岡市）

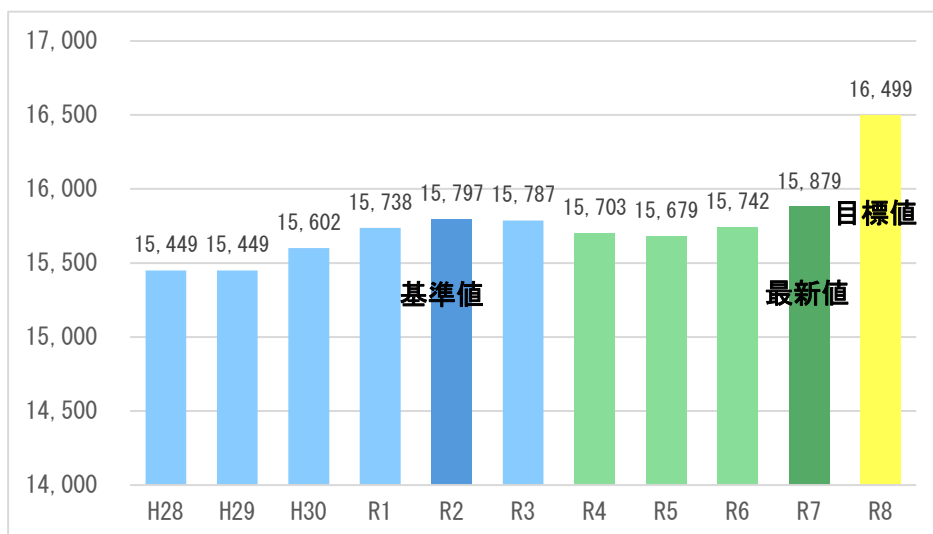
事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	歴史博物館の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	静岡市歴史博物館運営事業における効果により観光客数（来館者）を約 350 千人／年を見込んでいる。 令和7年度は 125 千人の来館者があったものの、当初の想定を下回っている。
事業の今後について	引き続き観光拠点として運営事業を行い、他事業との一体的な推進による効果によって目標値の達成を目指していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているが、市民文化会館の閉館により観光客数は大幅に減少となった。計画最終年である令和8年度も引き続き閉館していることから、目標達成は見込まれないが、他の施設においては、清水港へのクルーズ船の来航数増加や、円安によるインバウンド需要の高まりによる観光客数の増加を契機として、観光客数の増加を目指す。

(3)「中心市街地人口（人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 74 参照

●調査結果と分析



※調査方法：静岡市住民基本台帳より

※調査月：毎年9月

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地

年	(人)
R2	15,797 (基準年値)
R3	15,787 (計画前)
R4	15,703 (1年目)
R5	15,679 (2年目)
R6	15,742 (3年目)
R7	15,879 (最新値)
R8	16,499 (目標値)

〈分析内容〉

中心市街地人口の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり進捗している。

近年は人口が減少する地域が多かったが、移住施策の充実に加え、マンション建設が進んでおり、住戸が増えた町丁を中心に人口が増加に転じており、基準値より上回ることができたと考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 静岡市移住・就職事業（静岡市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。 令和7年度は55件の交付実績があり、そのうち中心市街地区域内への移住が11件程度あった。
事業の今後について	年間実績は増加傾向にあることから、今後も移住支援センター等と連携し、引き続き移住を図っていく。

②. 移住支援センター運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター（東京・有楽町）の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	移住支援センター経由による静岡市への移住者は、令和3年度に76名、令和4年度に104名、令和5年度に106名、令和6年度に124名、令和7年度に137名であった。 計画策定時の推計値（53人×0.7×0.75÷27.8人/年）に対し、実績に基づく推計値（137人×0.7×0.75÷71.9人）が上回る結果となった。 しかし、中心市街地人口の目標値 16,499 人に対し、最新値は 15,879 人という結果となり、目標を下回る結果となった。
事業の今後について	本事業の進捗は順調であることから、今後も、他の移住施策等と連携し目標値の達成を目指していく。

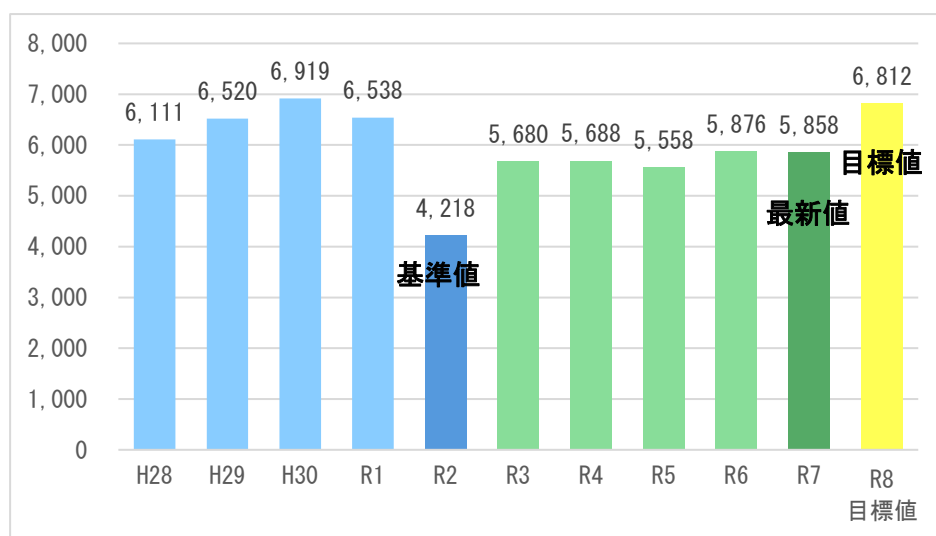
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は順調に進捗しているが、想定よりも数値が伸びていない。

しかし、移住支援センター運営事業や静岡市移住・就職事業での支援件数の増加やマンション建設などの民間投資は現在も積極的に図られており、今後も住居機能を含む新たな再開発事業の計画も動き出していることから、引き続き各取組を一体的に推進していくことで目標値の達成を目指していく。

（４）「歩行者通行量（人）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 77 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R2	4,218 (基準年値)
R3	5,680 (計画前)
R4	5,688 (1年目)
R5	5,558 (2年目)
R6	5,876 (3年目)
R7	5,858 (最新値)
R8	6,812 (目標値)

※調査方法：中心市街地内の58地点で、人が目視にて確認

※調査月：毎年11月最終日曜日の10時～17時

※調査主体：静岡市中心市街地活性化協議会

※調査対象：小学生以上の歩行者



〈分析内容〉

基準年である令和2年度より回復しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に至っておらず、昨年度から18人減少となった。M20ビルの完成・駿河屋本店の出店により、人流が変わり上位地点に入れ替わりがあった。交通の起点となるJR静岡駅で昨年よりも通行量が減少しており、周辺地区に大きく影響を与えたことが考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①.【再掲】静岡市歴史博物館運営事業(静岡市)

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	歴史博物館の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度7月にプレオープンし、令和5年1月にグランドオープンしたことで、59人/日の増加を見込んでいる。 令和7年度は歴史博物館へ向かう通りの通行量が開館前の令和3年度と比較して182人/日増加しており、開館の効果が見られた。
事業の今後について	引き続き施設の運営や他事業との一体的な取組の効果により歩行者通行量の増加を目指していく。

②. 御幸町 9 番・伝馬町 4 番地区第一種市街地再開発事業

(御幸町 9 番・伝馬町 4 番地区市街地再開発組合)

事業実施期間	令和元年度～令和6年度【済】
事業概要	商業・業務・学校等の整備を図る再開発事業の実施(面積約 0.3ha、延べ面積約 18,000 m ²)
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(住環境整備事業-市街地再開発事業)(国土交通省) (令和2年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業の完了により、買物客・来店者の増加や学生の増加により215人/日の増加を想定している。 令和6年度にグランドオープンしたことで、令和7年度は、周辺地区において令和5年度比 877人/日増加しており再開発の効果が見られた。
事業の今後について	引き続き施設の運営や他事業との一体的な取組の効果により歩行者通行量の増加を目指していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しているが、当初想定していたよりも数値は伸びていない。しかし、各指標に紐づく個別事業において、取組の効果が出てきている事業もあるため、引き続き各取組みを一体的に推進していくことで、目標値にできる限り近づけていく。また、歩行者通行量の計測について、今後は 24 時間 365 日計測することにより、天候やイベント等に大きく左右されることなく計測が可能となることから、事業効果の分析をより正確に行い、事業に生かすこととする。